

ふくおか

7月



県協同組合 令和5年度



『令和5年度(第17回)通常総会』

組合トピックス	1～13	色色問答	17～18
MOMOステーション	14	外部	19～20
診療所日記	15～16	支所長日記	21

ふくおか県酪農業協同組合 令和5年度(第十七回)通常総会を開催

去る六月二十七日(木)「筑紫野市文化会館」において、ふくおか県酪農業協同組合の令和五年度(第十七回)通常総会を開催しました。

冒頭、中島清組合長の挨拶、来賓挨拶に続き、宮崎悟氏(福岡支所)を議長に選任し、第1号議案から第7号議案が上程され、いずれも原案通り承認されました。

さて令和五年度は、二〇二二年二月に始まったロシアによるウクライナ侵攻が未だ終息の糸口すら見いだせず、ウクライナ側によるロシアの製油施設攻撃、イスラエルとパレスチナガザ地区の紛争等によりエ

ネルギー資源の供給不安を招いています。また、海上運賃の上昇や、世界的なインフレ基調と相まって世界経済は一層混乱の度を深めています。

我が国の酪農においては、国際的なインフレ基調に加え、為替相場の円安傾向が重なり、生産資材の価格高騰に歯止めがかからない状況が続いており、また副産物収入である子牛価格等の下落も影響し、厳しい状況が続きました。一方、課題であった国内乳製品の過剰在庫問題、特に脱脂粉乳の在庫については、全国の指定団体による生産抑制対策並びに生産者、乳業者が国の拠出に

よる乳製品在庫調整特別対策事業に取り組んだ結果、年度末における在庫は適正水準に達しました。

このような中、指定団体による乳価交渉が行われ、学校給食、加工原料乳向けが令和五年四月より十円/kg、飲用向けが昨年の十二月に続き令和五年八月から十円/kg、令和五年十二月から加工原料乳向けの内バター、生クリーム向けが六円/kgそれぞれ値上げが行われました。

また、改正畜安法における不公平感の是正のため畜産法施行規則の一部改正が行われ、指定団体が生乳受託を拒

むことの出来る要件が追加されました。しかしながら、同法に対する酪農家間の不公平感、は完全に解消されたとは言えず、日本酪農政治連盟では生乳需給緩和時における生産抑制に対する不公平感への問題払拭のため、改正畜安法の検証を求めています。

さらに、組合は酪政連と連携し前年度に引き続き飼料高騰に対する緊急支援要請活動に取り組み、国はもとより福岡県議会自民党派県議団に対して酪農家の継続支援に、対して酪農家の継続支援に係る要請書を提出、購入飼料価格上昇分及び肉用子牛出荷価格の下落に対する支援が実施され、酪農家の経営の下支えとなりました。さらに市町に対しても要請を行い一定の支援策が実施されました。しかしながら県下の酪農

は、高止まりする生産資材価格や歴史的な円安基調等から将来への不安感を一掃することができず十一戸が離農、乳牛飼養頭数並びに受託乳量が減少し、前年度に引き続き組合事業実績を大きく落とす結果となりました。

このような社会的環境や酪農情勢により多大なる影響を受けながらも、三カ年計画の重点実施事項と併せ、各事業に取り組み、以下のとおりの事業実績となりました。

第五次三カ年計画の二年度目となる今年の計画については、これまで以上に厳しい状況下での計画となりますが、重点実施策に掲げた目標に向かい、酪農を取り巻く情勢の変化に対応できる足腰の強い酪農経営を目指し、酪農基盤の維持強化のための事業に取り

組んで参ります。

最後になりましたが、今後も役職員一同、酪農の発展に寄与できるよう、業務に邁進して参りますので、皆様のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

財務・事業実績

区分	項目	令和4年度	令和5年度
財務	事業利益(千円)	△ 26,226	24,285
	経常利益(千円)	△ 9,937	42,616
	当期剰余金(千円)	△ 12,337	132,813
	自己資本比率(%)	44.19	47.10
販売	受託販売乳量(ト)	65,458	59,761
	生乳販売高(千円)	7,513,488	7,575,271
購買	購買品供給量(ト)	38,268	34,087
	購買品供給高(千円)	3,631,224	3,306,406



議長 福岡支所 宮崎 悟氏

令和五年度 乳質優良者六十五名受賞

令和五年度乳質優良者表彰は、月二回の定期検査値の配点積上げ方式により審査を行い、最優秀賞を、三年連続で福岡支所の松永慎也さん、優秀賞を、福岡支所の森田純一郎さん、藤井正剛さん、有田徹さん、野田貞治さん、優良賞を六十名の方が受賞されました。(表1)

また、特別賞(十年連続ノーペナルティー)として、福岡支所の藤井正剛さんが受賞されました。

表彰は、六月二十七日通常総会終了後に代表して最優秀賞者一名と特別賞者一名を対象に表彰状並びに副賞等の授与を行いました。

受賞者の方には、賞状及び賞品併せて全酪連、全畜連、JA全農くみあい飼料(株)からの副賞を御贈りいたしました。引き続き「食の安心・安全」へ向けた、なお一層の乳質向上への取り組みをお願いいたします。



(左)中島組合長 (右)最優秀賞 福岡支所 松永 慎也氏



(左)中島組合長 (右)特別賞 福岡支所 藤井 正剛氏

令和5年度 乳質優良表彰者一覧表（表1）

ふくおか県酪農業協同組合

NO.	支所名	組合員略名	表彰	配点	連続回数	NO.	支所名	組合員略名	表彰	配点	連続回数
1	福岡	松永 慎也	最優秀賞	2,370	12	34	福岡	鶴田 昇	優良賞	1,955	2
2	福岡	森田 純一郎	優秀賞	2,345	11	35	久留米	林 信隆	優良賞	1,955	2
3	福岡	藤井 正剛	優秀賞	2,320	10	36	飯塚	金光 伸幸	優良賞	1,950	2
4	福岡	有田 徹	優秀賞	2,240	8	37	福岡	手島 宏	優良賞	1,950	3
5	福岡	野田 貞治	優秀賞	2,240	7	38	福岡	重富 康則	優良賞	1,940	3
6	久留米	佐野 喬	優良賞	2,235	2	39	久留米	中村 博之	優良賞	1,940	13
7	久留米	秋吉 信義	優良賞	2,230	5	40	飯塚	田村 亜希子	優良賞	1,935	2
8	久留米	カクタファーム 代表 角田 一馬	優良賞	2,200	1	41	福岡	笠 直哉	優良賞	1,920	5
9	飯塚	穂坂 精樹	優良賞	2,160	1	42	久留米	岩下 寿秀	優良賞	1,915	13
10	久留米	安丸 英宏	優良賞	2,155	8	43	福岡	南福ファーム 代表 近松善洋	優良賞	1,905	3
11	久留米	中野 繁利	優良賞	2,155	6	44	飯塚	楠木酪農生産組合 松野 竜大	優良賞	1,900	4
12	久留米	弓削 貴裕	優良賞	2,150	3	45	飯塚	木戸 健	優良賞	1,900	6
13	飯塚	森下 団蔵	優良賞	2,150	6	46	福岡	波多江 正好	優良賞	1,880	6
14	久留米	大石 信	優良賞	2,145	8	47	久留米	中垣 広之	優良賞	1,870	1
15	飯塚	森田 勉	優良賞	2,145	3	48	久留米	堀内 潤一	優良賞	1,870	4
16	飯塚	村上 篤	優良賞	2,140	1	49	飯塚	神崎 宏昭	優良賞	1,870	1
17	久留米	平田 実	優良賞	2,125	3	50	久留米	内堀 誠	優良賞	1,865	8
18	久留米	黒岩 純雄	優良賞	2,120	2	51	飯塚	藤田 和英	優良賞	1,860	1
19	久留米	椿 富生	優良賞	2,120	3	52	久留米	金納 時久	優良賞	1,850	1
20	久留米	木庭 健一	優良賞	2,105	12	53	久留米	大坪 健一	優良賞	1,850	1
21	久留米	池松 和幸	優良賞	2,090	7	54	飯塚	(有)天地山牧場	優良賞	1,850	1
22	飯塚	竹本 貞敏	優良賞	2,070	11	55	久留米	内田 健二郎	優良賞	1,840	9
23	久留米	川島 正春	優良賞	2,060	1	56	久留米	中野 実夫	優良賞	1,820	2
24	久留米	鶴 広文	優良賞	2,050	4	57	久留米	坂井 彰	優良賞	1,805	8
25	飯塚	國廣 隆一	優良賞	2,025	3	58	福岡	藤野 和有基	優良賞	1,800	1
26	福岡	濱地 邦夫	優良賞	2,020	6	59	久留米	堀田 孝春	優良賞	1,780	4
27	久留米	江上 正生	優良賞	1,995	17	60	久留米	(有)成清牧場	優良賞	1,770	3
28	久留米	田中 信義	優良賞	1,985	5	61	飯塚	中村 秀貴	優良賞	1,755	11
29	福岡	田中 和久	優良賞	1,975	1	62	久留米	大塚 泰幸	優良賞	1,710	1
30	福岡	吉村 重也	優良賞	1,965	3	63	久留米	増田 雅美	優良賞	1,695	1
31	久留米	(株)倉重ファーム	優良賞	1,965	4	64	久留米	松藤 誉志喜	優良賞	1,690	1
32	飯塚	藤原 和美	優良賞	1,965	2	65	久留米	大淵 優太	優良賞	1,645	1
33	飯塚	江藤 秀樹	優良賞	1,960	1						

定期検査（乳脂肪分・無脂固形分・体細胞数・細菌数）における年間ノーペナルティー者 65名（昨年度68名）

特別賞表彰者一覧表（10年連続ノーペナルティ組合員）

支所	組合員略名	連続回数	支所	組合員略名	連続回数
福岡支所	藤井 正剛	10			

定期検査（乳脂肪分・無脂固形分・体細胞数・細菌数）における10年間ノーペナルティー組合員

令和六年度 第1四半期の生乳生産状況

新型コロナウイルス感染症が5類へと引き下げられ行動制限の緩和、インバウンド観光がコロナ禍以前の状況に戻るなど経済活動の正常化が進んできました。

しかし、ロシア・ウクライナ情勢は未だ終息せず、イスラエルとパレスチナガザ地区の紛争などにより、世界経済は不安定な状況が続いています。

このような情勢のなか第1・四半期に四戸の廃業者もあり、第1・四半期の生乳生産状況は、一五、四八三トンと対前年比九九%となりました。

また、六月に組合員からの今年度生乳出荷目標数量の報告を積み上げた結果五九、七二四トン（前年比一〇二・九%）となり、この数量を本組合における生乳出荷見込数量として九州生乳販連へ報告しました。

このような状況の中、組合も微力ながら酪農の生産基盤強化・維持のため各種事業の実施等、飼料対策として全国連と連携し輸入粗飼料や乾乳飼料、添加物などのキャンペーンを七月から九月に実施しますので、暑熱期の飼養管理等に万全を期していただきますよう宜しくお願いします。

令和六年度 組合の生乳生産（第1・四半期）

単位＝トン・%

支 所	受託乳量	前年比	前年廃業 除く対比
福岡支所	4,579,005	99.1	103.5
久留米支所	8,599,280	98.5	104.4
飯塚支所	2,305,174	100.8	105.0
組合 合計	15,483,459	99.0	104.2

注) トン未満を四捨五入のため計が一致しないことがあります。

酪政連 福岡県支部連合会 第六十二回定時総会を開催

第六十二回の日本酪農政治連盟福岡県支部連合会定時総会が四月三十日に福岡市内にて開催されました。

当日は、三支部より十八名（本人出席十五名、委任状三名）の代議員出席のもと、第二号議案より第三号議案まで慎重審議のうえ原案通り可決決定されました。

なお、令和六年度の重点政策を生乳の需給調整対策に対する支援対策、高騰する酪農生産資材に対する支援対策の継続、国産自給飼料増産対策、酪農後継者の担い手確保対策と決定しました。



糸島B&Wシヨールが七年ぶりに開催されました！

令和六年三月二十六日(火)、糸島市大原牧場にて糸島B&Wシヨールが開催されました。今回は糸島市を始め、たくさんのお客様が来場し、体よりご協賛いただきありがとうございました。当日は朝から一日あいにく雨のスタートとなりましたが、牛たちには心地よい気温だったかもしれません。審査員に熊本の松島太一氏を迎え、各牧場から四十一頭もの出品牛が集まり、盛大に開催されました。

審査の結果グランドチャンピオンには有田徹さんの「フルアベツトKWユニクスアプリオリET」が選ばれました。

これから是非積極的な共進会への参加をお願いいたしますとともに、乳牛改良を通じて酪農経営向上を目指してください。



(中央)審査員 松島 太一氏

部 門	出品者名 (敬称略)	牛 名	賞	
第1部	松永 慎也	申請中	名誉賞	
第2部	中村 毅	ビューティガール サイドキツク エンタルピー	名誉賞	ジュニア チャンピオン
第3部	挟間 祐一	エルドリツジ ラムスター ハーゲン	名誉賞	
第4部	挟間 祐一	エルドリツジ ファーニア L アポロ	名誉賞	ジュニアリザーブ チャンピオン
第5部	濱地 善朗	グランドハマー デルタラムダ デュランゴ	名誉賞	
第6部	松永 慎也	MSF デジーズ チーフ デイバイン ET	名誉賞	リザーブ チャンピオン
第7部	有田 徹	フルアヘッド KW ユニクス アプリオリ ET	名誉賞	グランド チャンピオン

第二十九回甘木朝倉ベビィショー開催

去る、三月二十九日(金)に第二十九回となる甘木朝倉ベビィショーが永利牧場にて開催されました。審査員に(株)野澤組の森田大介氏を迎え、五部門に二十五頭の出品があり、グランドチャンピオンには永利牧場所有の「ナガトシミルク サイド インパーフェクト」、「リザーブ チャンピオン」には下川茂広牧場所有の「シモカワファーム ドック ブリジット」が選出されました。

これからも是非積極的な共進会への参加をお願いいたしますとともに、乳牛改良を通じて酪農経営向上を目指されてください。

各賞	牛 号	出品者氏名
1部 名誉賞	シモカワファーム ドック ブリジット	下川 茂広
1部 優秀賞1席	ナガトシミルク ドアビリーブ サイドガール	永利牧場
2部 名誉賞	スターリングランチ SK プリンセス	高倉 守雄
2部 優秀賞1席	エムエッチ サイドキック ハーブ	平田 卓
3部 名誉賞	ナガトシミルク ソフィア マスターミクル	永利牧場
3部 優秀賞1席	スターリングランチ KD ドア	高倉 守雄
4部 名誉賞	スターリングランチ レイジャー ドルチェ RC	高倉 守雄
4部 優秀賞1席	ミドルランド デルタラムダ アポロ	中島 康森
5部 名誉賞	ナガトシミルク サイド インパーフェクト	永利牧場
5部 優秀賞1席	ホリホック デルタラムダ エリザベス	弓削 遼太郎

	牛 号	出品者氏名
グランドチャンピオン	ナガトシミルク サイド インパーフェクト	永利牧場
リザーブチャンピオン	シモカワファーム ドック ブリジット	下川 茂広

「令和6年夏ギフト」のご案内

ギフト受付期間

令和6年
7月1日(月)～
8月9日(木)

牛乳、乳製品消費拡大運動の一環として、本年度も夏ギフトを販売いたします。組合員、役職員の皆様ご協力の程、よろしくお願い致します。



第三十七回ふくおか県酪農青年女性酪農発表大会開催

去る三月二十七日(水)、筑紫野市生涯学習センターにてふくおか県酪農青年女性会議主催「第三十七回ふくおか県酪農青年女性酪農発表大会」が開催されました。

今回は、酪農経営発表に久留米支所の田中敏雄氏より「酪農に近道なし。一つ一つの改善を大切に。」、意見体験発表に福岡支所の長渡雄一郎氏より「私の牧場物語」第三者継承をうけて三年目突入」と題して、発表していただきました。

その後、ベッツサポート「WA」の藤倉篤史先生より「知ってきたい蹄のこと」と題して講演いただきました。蹄の構造や病気の種類、予防についてなどとても分かりやすく有益なお話をいただきました。



▲経営発表 田中敏雄氏



▲意見体験発表 長渡雄一郎氏



▲平田委員長挨拶



◀藤倉篤史先生講演



牛乳の日イベント「HAKATA牧場」開催

令和六年六月一日「牛乳の日」に、博多駅前広場にて消費拡大活動「HAKATA牧場」を開催しました。「乳搾り体験」「哺乳体験」「バター作り体験」等のイベントや（株）カルビー様にご協力頂きグラノーラの試食会を実施し、販売コーナーでは福岡県産の牛乳、乳製品を販売し牛乳、乳製品の美味しさ、魅力をPR、似顔絵コーナーではお父さんの似顔絵を描いて写真撮影を行い、牛乳の消費拡大、「父の日に乳を贈ろうキャンペーン」の周知を行うなど会場は多くの人で賑わいました。

乳搾り体験



哺乳体験



似顔絵



サンプリング



販売コーナー



みんなでかんぱ〜い♪

各地区で消費拡大活動開催

J Aくるめ酪農部会の生産者を中心に、久留米市職員・J A職員・県酪職員と牛乳のPR活動(牛乳の無料配布)を道の駅くるめで行いました。

六月一日の「牛乳の日」に合わせ、酪農家自ら消費者と交流し、おいしい福岡県産牛乳を飲んでもらい、一杯でも多くの牛乳を飲んでもらえるように、牛乳の消費を呼びかけました。



福岡地区酪農青年部では、

六月十六日(日)父の日に、筑紫野市 石橋牧場 ラッテビアンコにて牛乳の消費拡大活動をPRしました。ミルメークの配布や、お父さんの似顔絵も描いてもらいました。

そこで、お父さんと一緒に似顔絵も「パチリ」ととても上手に、描けました。

これからも、もっとおいしい牛乳をたくさん飲んで頂けるように、牛乳の推進をしました。



福岡支所では、六月二十二

日(土)㈱糸島みるくぷらんとイベントにおいて、ミルメークを配布し、牛乳の推進活動をしました。すぐく雨の降る中、たくさんのお客様に来ていただき、「牛乳毎日飲んでるよ。

牛乳おいしいね。」との声をいただくと、牛乳のPRに一層力が入りました。

これからも、多くの消費者の方々に、牛乳の美味しさ・牛乳の魅力を伝えていきたいです。





頑張る

未来の

酪農家紹介

久留米支所

堀田牧場

堀田 翔吾さん

・酪農を始めたきっかけ
二〇歳前後で本格的に家業の手伝いを始めましたが、小さい時から牛が身近に居たので、特にやりたい仕事が無かったので酪農を始めました。

・現在の状況

現在経産牛約五〇頭、育成牛約三〇頭、和牛繁殖四頭の計約八〇頭を飼養しています。両親からもそこそ任せられるようになってきました。

・課題

今後は経営を見直し、規模拡大したいと言いたい所ですが、この世の中の状況を見て、身の丈に合った無駄の無

い効率の良い経営を目指していきたいです。色々な人の意見をきき、チャレンジし、じっと我慢してやっていきたいです。青年部の先輩方のアドバイス等には大変助け

られています。酪農若手の会のメンバーと意見交換して、助けあっています。まずは無理をせず、乳量を増やしていきたいです。怪我無く、健康でやっていきたいです。

インスタグラムを使い、近所の野菜農家さんとイベントや耕畜連携しながら情報

発信して、色々な酪農家さんと情報発信していきたいです。

若輩者ではありますが、応援してくださる方々に支えていただきながら精一杯努力する所存です。ぜひ応援をよろしくお願いいたします。



令和5年次 牛群検定成績まとまる

令和5年次の牛群検定成績結果が発表され、福岡県の検定農家における経産牛1頭当たりの平均年間乳量9,213kg(前年9,417kg)、平均乳脂肪率3.99%(前年3.96%)、平均無脂固形分率8.77%(前年8.74%)の成績となりました。

都府県(検定牛)の経産牛1頭当たりの平均年間乳量は9,751kg(前年9,890kg)で、福岡県は都府県をやや下回る水準となっています。

検定組合ごとの生産・技術成績は下記のとおりです。

令和5年 牛群検定事業成績

項目 組合名		戸数	経産牛 1頭当り 年間 TMS量	経産牛 1頭当り 年間 乳量	経産牛 頭数	搾乳牛 頭数	平均 全固形 分率	平均 脂肪率	平均 蛋白 質率	平均 無脂固形 分率	4%FCM	平均 乾乳 日数	平均 分娩 間隔	平均 年齢	平均 初産 月齢	平均 産次
		(戸)	(kg)	(kg)	(頭)	(頭)	(%)	(%)	(%)	(%)	(kg)	(日)	(日)	(才月)	(月)	(産)
乳用牛群改良検定組合	福岡支所	33	1,187	9,343	54.7	48.3	12.70	3.93	3.35	8.77	9,245	65	454	4 1	24.3	2.7
		38	1,198	9,468	53.6	47.0	12.65	3.91	3.32	8.74	9,339	65	448	4 3	24.5	2.8
	甘木朝倉地区	26	1,098	8,638	37.0	32.4	12.71	4.00	3.30	8.71	8,633	70	459	4 0	25.1	2.6
		27	1,148	9,043	37.6	32.7	12.70	4.00	3.27	8.70	9,039	68	450	4 1	25.0	2.6
	久留米	35	1,230	9,577	57.3	50.7	12.84	4.04	3.36	8.80	9,639	60	444	4 3	25.1	2.8
		35	1,255	9,821	59.0	52.0	12.78	4.00	3.32	8.78	9,821	62	450	4 4	24.7	2.8
	県北地区	27	1,100	8,675	34.5	30.2	12.68	3.93	3.33	8.75	8,584	68	454	4 1	24.9	2.7
		28	1,117	8,840	34.7	30.4	12.64	3.91	3.30	8.73	8,722	63	451	4 2	24.1	2.7
	筑後地区	12	1,212	9,400	41.7	36.8	12.89	4.12	3.32	8.77	9,564	62	449	4 1	24.0	2.7
		12	1,208	9,428	42.1	37.6	12.81	4.07	3.28	8.74	9,534	62	455	4 4	24.9	2.9
福岡県検定 合計または平均		133	1,176	9,213	46.8	41.2	12.8	3.99	3.34	8.77	9,202	64	451	4 2	24.7	2.7
		140	1,196	9,417	47.1	41.4	12.7	3.96	3.31	8.74	9,367	64	450	4 3	24.6	2.8
ふくおか県酪 合計または平均		146	1,092	8,571	－	－	12.74	3.96	－	8.78	上 段:令和5年1月～令和5年12月 下 段:令和4年1月～令和4年12月					
		156	1,103	8,713	－	－	12.66	3.92	－	8.74						
都府県 合計または平均		－	1,234	9,751	－	－	12.66	3.90	3.31	8.76						
		－	1,253	9,890	－	－	12.67	3.89	3.31	8.78						

酪農共済給付金のご請求、忘れていませんか??

ちょっとしたケガで病院に行ったことはありませんか?

事故や病気にあわれたらお気軽にご相談ください。

また、「ハイメディカルスーパー」ご加入者については、白内障手術や大腸ポリープ切除手術等、**病気日帰り手術の見舞金一律1万円給付**が開始されました

(2024年3月1日以降)!

お問い合わせは各支所まで。



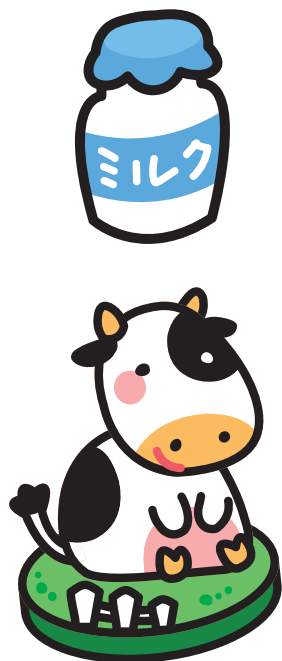
病気で入院や手術をした



ケガで通院や入院・手術をした



例



両市町長とも「甘くて美味しいですね!!」と言って美味しそうに牛乳を飲まれ「牛乳の消費拡大には協力します。市町としても応援していきますので酪農家の皆さんも頑張ってください」と激励を頂き、大変有意義な市町長訪問となりました。

甘木朝倉酪農女性部は6月5日、父の日を前に朝倉市役所に林市長を、筑前町役場に田頭町長を訪問し、「父の日に牛乳(乳)を贈ろう」キャンペーンとして、牛乳を贈呈し牛乳の飲用PRを行ってまいりました。

甘木朝倉酪農女性部

牛乳消費拡大運動活動



(左)朝倉市 林市長



筑前町 田頭町長

乳牛診療人工授精所 蔣野 あかり

夏場の受胎戦略 ～夏こそETを！～

はじめに

早いもので授精師2年目に突入しました、蔣野(こもの)です。研修時代からあたたかく牧場で迎えてくださった皆様のおかげでここまで頑張ることができました。いつも本当にありがとうございます。

さて、これから本格的な暑さがやってきますが、夏場はAI受胎率が低下するため、繁殖計画に頭を悩ませる方も多いと思います。参考までに、久留米管内の昨夏(7月～9月)のAI受胎率は27.4%と、大きく低下していました。暑熱は毎年大敵ですが、春産みの頭数を増やすために、また夏分娩の集中を避けるためにも夏場の受胎頭数確保は不可欠です。そこで、この記事では、暑熱ストレス(ヒートストレス:HS)がAI受胎率に与える負の影響を改めて説明した上で、私なりの夏場の受胎戦略をご紹介します。

HSがAI受胎率を低下させる理由

HSにさらされると乳牛の体温は上昇し、乾物摂取量が減少するため、エネルギー不足を引き起こします。同時に、体内の酸化ストレス(活性酸素が増加している状態)が亢進します。これらの要因が直接的または間接的に影響することで、生殖器の機能を低下させるといわれています。具体的に、繁殖に必要なホルモン(GnRH、LH、E₂など)の分泌量が低下し、それにより発情微弱化が起こりやすくなります。また、HSは卵子の質を低下させるため、結果的に受精の不成立につながる可能性があります。実際の調査では、夏場のAI時において体温が39.5℃未満の場合の受胎率は39%であるのに対し、39.5℃以上の場合にはわずか7.7%まで低下したという報告もあります。さらに、正常に受精できた場合でも、早期胚死滅が起こりやすくなります。これは受精後1～3日の間に、受精卵が直接的にHSを受けることと、受精卵の発育に必要な遺伝子発現が阻害されることによるもので、後者の主な原因は、前述した酸化ストレスだと知られています。この一連の流れにより、夏場のAI受胎率は著しく低下します。

夏場における受精卵移植(ET)の強み

一方、受精から7～8日目の胚である受精卵は、これらの暑熱による負の影響をバイパスすることができます。また、発生が進んだ胚では暑熱によるダメージが少ないことが知られています。この特性が夏場におけるAIと比較したETの強みであり、実際に久留米管内の昨夏(7月～9月)のET受胎率は42.3%と、AIより約15%高かったです。昨今の暑熱の深刻化を考慮すると、AI時に乳牛の体温を39.5℃未満に保つことは非常に

困難であり、リスク回避としてETは十分おすすめできるかと思います。

新鮮卵ETの活用

受精卵にも様々な種類がありますが、夏場のETで特におすすめなのが新鮮卵です。凍結や融解によるストレスを受けない新鮮卵は、凍結卵と比較し受胎率が約10%高いとされています。実際に福岡管内では(株)Guardianの新鮮IVF ETで高受胎率(年間で62.9%)が得られています。ここ最近久留米管内でも、家畜改良事業団(LIAJ)の新鮮IVF ETを活用される方が徐々に増えてきています。LIAJでは3卵未満の注文だと送料が発生するなど、注意点はありますが、入手困難かつ市場性の高い雄判別の受精卵を体内卵より安く利用できる利点があり、繁殖検診で複数頭を同期化処置する場合に特におすすめしています。AI受胎率が著しく低下する夏場においても凍結卵に対する新鮮卵の有用性が示されているため、新鮮卵ETは管内の繁殖成績向上に寄与するのではないかと思います。この夏、受胎戦略の一案として検討していただければと思います。気になる方はぜひ声をかけてください！

おわりに

今回は乳牛の繁殖におけるHSの負の影響に着目しましたが、その影響は多岐にわたります。例えば、分娩移行期にHSにさらされた場合、免疫機能が低下し、泌乳初期の乳房炎や呼吸器障害、胎盤停滞などの発生が増加する可能性があります。また、乾乳期にHSにさらされた場合は、母牛だけでなく、出生後の子牛の成長や免疫機能にも悪影響が及ぶことが報告されています。このように負の影響が多い夏場に乾乳期や分娩を迎える牛を多くしないためには、秋～冬に受胎が偏ることをできるだけ避ける必要があります。そのため、夏場に少しでも受胎頭数を確保することが重要です。

毎年、暑熱対策には懸命に取り組まれていることかと思います。これを機に少しでも夏場の繁殖に前向きになっていただけると嬉しいです。最後になりますが、ETを行う上でより高い受胎性を求めたい！などご要望があれば、今後一緒に作戦を考えさせていただくことで、そのお手伝いができればと思います。私も勉強頑張ります！

令和6年 7月

火	水	木	金
7月2日 Sort ⁹⁰ Y福之雄	7月3日 Sort ⁹⁰ Y福之雄	7月4日 Sort ⁹⁰ Y福之雄	7月5日 Sort ⁹⁰ Y福之雄
7月9日 福勝雄	7月10日 福勝雄	7月11日 福勝雄	7月12日 福勝雄
7月16日 Sort ⁹⁰ Y福之雄	7月17日 Sort ⁹⁰ Y福之雄	7月18日 Sort ⁹⁰ Y福之雄	7月19日 Sort ⁹⁰ Y福之雄
7月23日 休日	7月24日 福之雄	7月25日 福之雄	7月26日 福之雄
7月30日 Sort ⁹⁰ Y福之雄	7月31日 Sort ⁹⁰ Y福之雄	8月1日 Sort ⁹⁰ Y福之雄	8月2日 Sort ⁹⁰ Y福之雄

※また、掲載したい図は以下の1つです。

「新鮮卵ETの活用」の部分で関連があります。

LIAJ新鮮卵輸送計画の例(表内の日付は移植日)

※家畜改良事業団「新鮮卵輸送計画」より一部抜粋

<https://liaj.lin.gr.jp/ivf/menu>

後継者が育つ酪農は素晴らしい

日本の農業は家族経営が圧倒的に多く、毎年のように高齢化が進み、後継者問題があちこちで取りざたされています。このままでは日本の農業は農家戸数の減少と共に衰退していくばかりで、農村地帯では経済の循環がおかしくなり、食料生産が衰退していくのは必定です。

その中であって、畜産や酪農は若い人が多く、約半分が45歳未満といわれ、後継者を確保している状況です(参考:農林水産省統計部新規就農者調査及び世界農林業センサス)。歳をとった人が離農していつている事実ではありますが、若い人達が経営継承・新規就農してきたことから、こと畜産に関しては若返ってきたのだ考えられます。新規就農者たちは動物が好き、自然に触れる機会が多い、農村社会がいい、社長になれる、都会にはない農村の生活にあこがれる等、理由は様々ですが、畜産や酪農に魅力を感じて参入してきたのだと思います。畜産の中でも酪農は、養鶏や養豚と違ってメーカーや系列に縛られることが少なく、自立性の高い経営ができます。耕種農家と違って酪農専業での収入比率が高いのも特徴です。これらのことに魅力を感じて若い人達が参入したいと思ってくれるのはとてもありがたいことです。日本の農業は従来ほとんどが家族や親族が継承してきましたが、近年になって酪農は第三者継承が多くなっています。北海道はもちろん、まだまだ都府県では少ないのですが、チラホラ第三者継承で新規就農する話を聞くようになりました。全酪アカデミーのHPを見るとこの経営が困難な中、新規就農を目指している人達がいることは大変心強いことです。

酪農はいうまでもなく今はやりのSDGs(持続可能な開発目標)を地で行く産業です。酪農のように持続的で循環型の経営は、他の農業品目では繁殖和牛経営くらいしか見当たりません。また、多面的な機能を有していて地域に貢献しています。増加している耕作放棄地を草地や飼料生産に活用するパワーがあります。草地や飼料作物を作ることによって景観保持機能もあります。スイスでは酪農家の草地に対して景観維持の補助金がでます。日本にはないのですが、地域の活性化に繋がっているのは事実です。さらに国土保全にも貢献しています。雇用の創出にも貢献しま

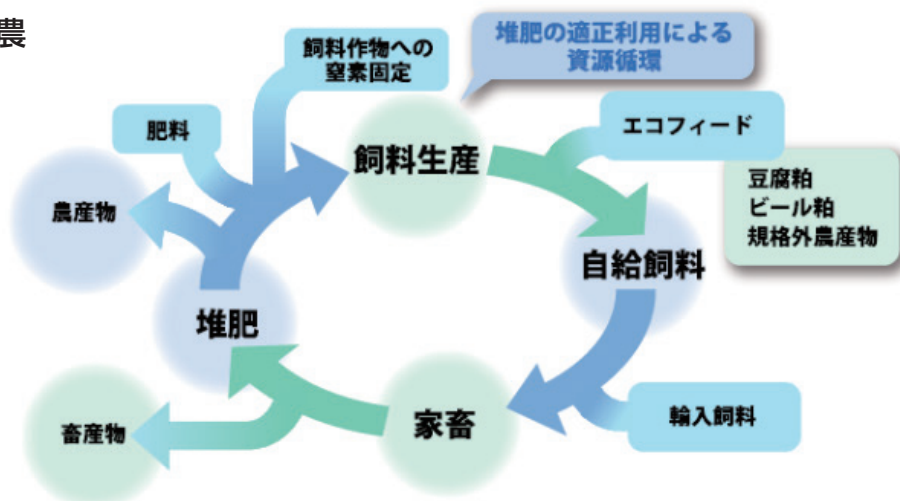
す。家畜から出てくる糞尿をワラやオガ粉を混ぜて堆肥にすることで地域の有機栽培に役立てています。交換した稲わら等を敷料に使ったり、地域でできた豆腐粕やビール粕、規格外農産物等をエコフィードとして利用し、資源循環にも貢献します。このように地域の活性化や地域資源の活用に大きく貢献しているのが酪農経営です。

今、全国的に酪農家戸数の減少が続いています。なかなか経営環境の改善が見られないのが実態です。このコロナ禍、ウクライナ戦争以降、酪農家戸数の減少は極端で、すでに一万戸を割り込む状況になってきました。経営が持ち直すにはさらに乳価が上がるのが一番ですが、乳業メーカーや消費者の理解が得にくいのも事実です。

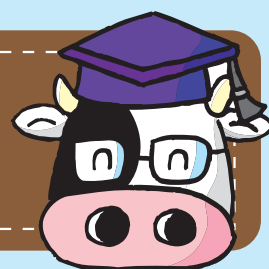
今、我々ができることは酪農の素晴らしさを消費者に伝え、少しでも多く乳製品を消費してもらうことです。牧場を公開し、動物とふれあうことで人々に癒やしを与え、酪農の理解醸成を行っている農場もあります。また、牛乳・乳製品は素晴らしい価値を持っています。ここでは取り上げませんが、機会があれば書きたいと思っています。また、牛乳は卵と並んで物価の優等生だといわれてきました。確かに食料全体の価格はこの50年で3.5倍になりましたが、牛乳を見てみると2、5倍にしかありません。

欧米のように国が乳価を決定できるようになることが早く望めます。酪農だけでなく農業全般を見ても、市場経済に任せた農産物価格の根本的な見直しが必要となっていると感じます。このままでは酪農を含め、日本の農業は衰退していきばかりだと懸念していますが、そのような中で、冒頭に記したように若い人達が新規参入を目指しているのは救いのような気がします。酪農がその人たちを育てていき、乳量をすきなだけ搾れるような環境となり、さらに魅力のある産業となって、消費者に根付いていくことを望んでいます。

図：循環型の酪農



出典：農林水産省「酪農及び肉用牛生産の近代化を図るための基本方針のポイント」(令和2年7月)など



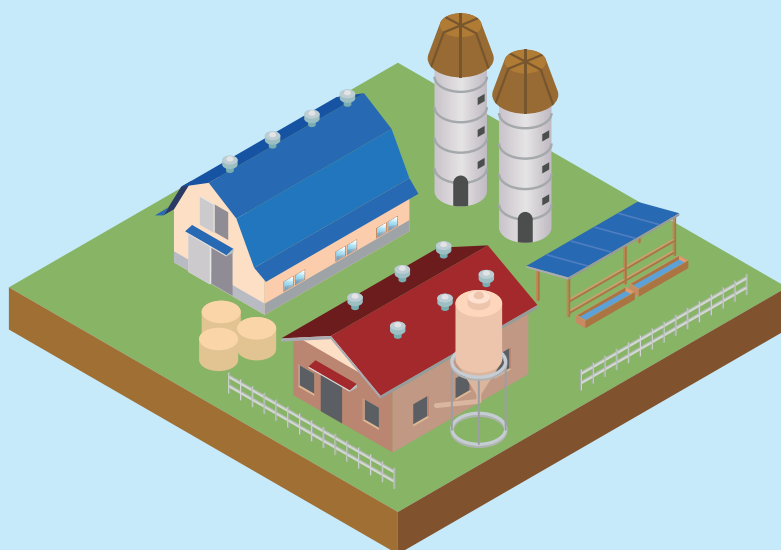
ゲノム情報を生かした乳用牛の改良

②【ヤングサイアの利用で改良速度を大幅に向上】

ゲノミック評価のリファレンス集団に雌牛データを追加することで、評価の信頼度が大幅に向上することをお伝えしました。では、このゲノミック評価をどのように活用すれば、乳牛改良の加速化を図ることができるでしょうか？ その一つが、ヤングサイアの利用です。

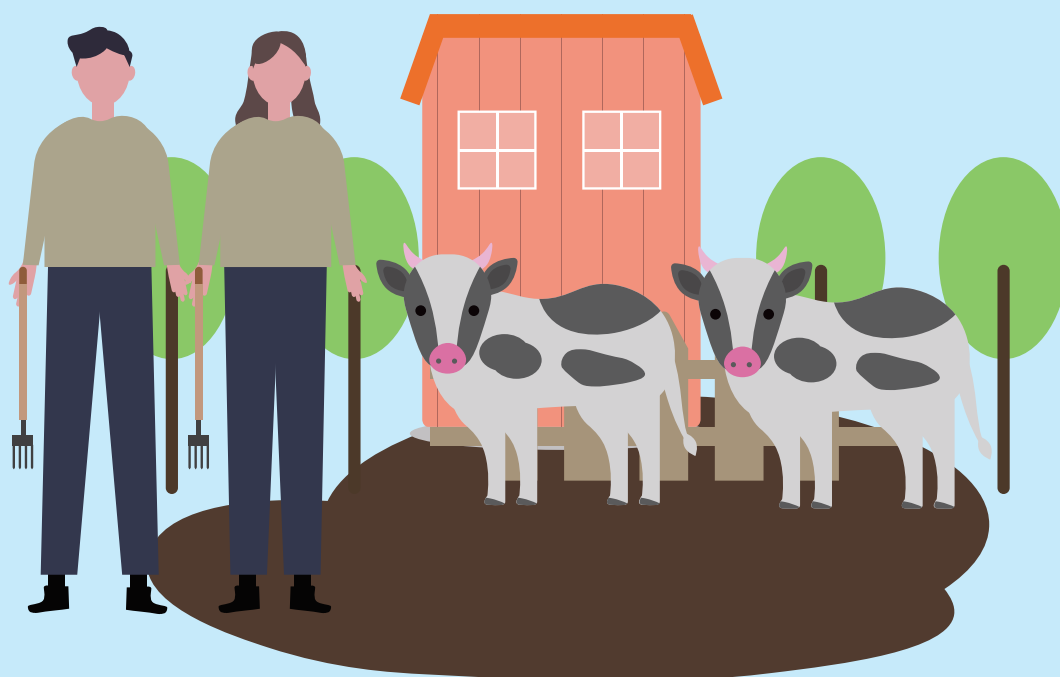
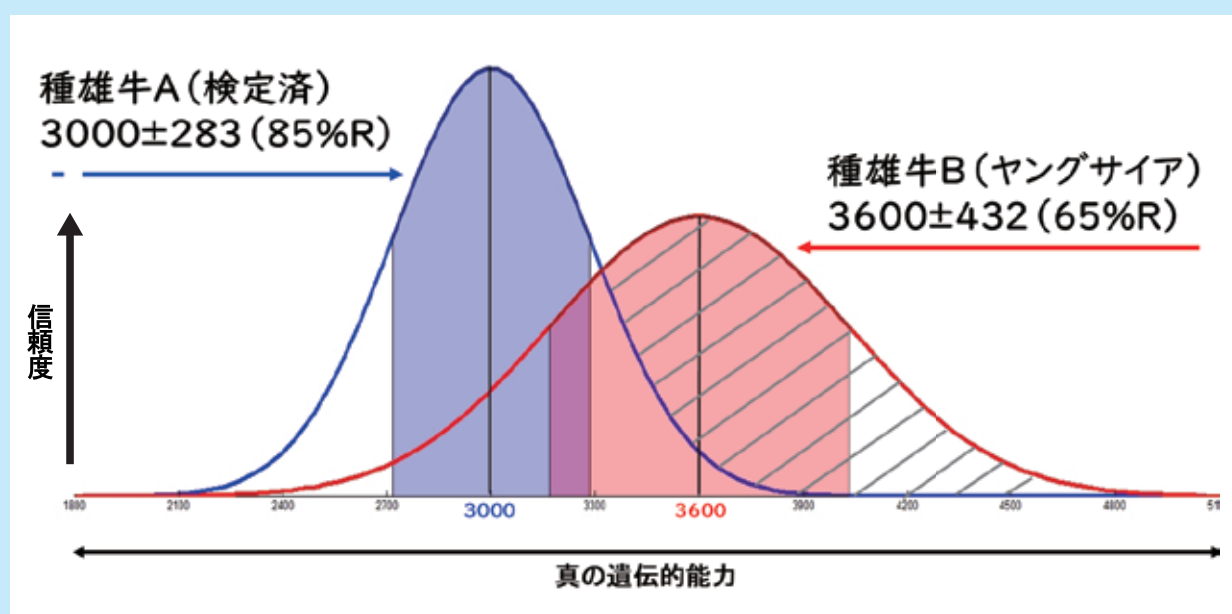
「ヤングサイア」は、後代検定成績が判明する前の「最新世代」の若雄牛です。ゲノミック評価は後代検定に参加する前の候補種雄牛の事前選抜に利用され、種雄牛のレベルは急激に向上しています。また、後代検定中の候補種雄牛をヤングサイアとして一般供用することで、世代間隔が短縮され、改良スピードを大幅に上げることができます。ヤングサイアの利用を拡大するには、ゲノミック評価の信頼度が課題となっていました。ゲノミック評価のリファレンス集団(参照集団)に雌牛データを追加することで信頼度が大幅に向上し、ゲノミック評価値と後代検定の結果には高い相関があることがわかっています。

近年の改良量を見ると、NTP(総合指数)であれば、年200ポイント、3年で600ポイント程度改良されています。それを踏まえ、例えば、NTPが+3000ポイント・信頼度85%の種雄牛A(検定済)と、NTPが+3600ポイント・信頼度65%の種雄牛B(ヤングサイア)がいたとします。この2頭の真の遺伝的能力の分布を重ね合わせると図のようになります。ヤングサイアの方が信頼度は低いわけですが、平均的



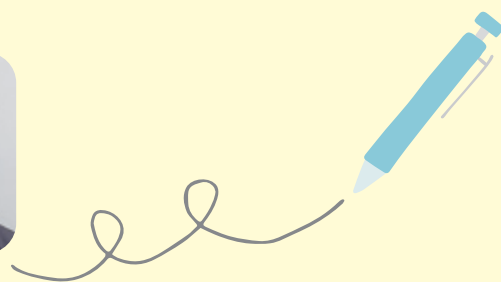
な世代間隔差程度である600ポイントの差があれば、仮に真の遺伝的能力が評価値より低かったとしても、検定済種雄牛を下回る可能性は低いことがわかります。ヤングサイアの信頼性に多少の心配があったとしても、特定のヤングサイアに集中せず、複数のヤングサイアを利用するなど、信頼度の高い検定済種雄牛とバランスよく利用することが大事です。

図. 検定済種雄牛とヤングサイア



支所長日記

飯塚支所 安永 幸治



わたしが飯塚支所長となり、はや3ヶ月が経過しました。

前支所長は13年間飯塚支所長を務められ、管内の酪農家の方々の信頼も厚く、わたしも「負けないように頑張らないと」とプレッシャーを感じている今日この頃です。

わたしが入組したのが令和2年のコロナ禍真っ只中で、日本全国大変な状況だったのを思い出します。

そんな中でしたので、酪農家の方々との接触も中々出来ない状況で、何か出来る事はないかと考える毎日を送っていました。

最近少しは落ち着いて来ているものの、まだまだ完全に終息していないのが残念に思います。

令和3年頃から飼料高騰等により酪農家戸数が急激に減少していく中、経営持続に向け普及センター・畜産協会・飼料会社等と一丸となり、一番のネックであった飼料コストの削減を図る為の飼料計算の見直し等の経営指導を行っております。

令和5年度より乳価が上がって来ましたが、まだまだ飼料価格の高止まりが続いている状況ですが、一時は価格が下落していた副収入である子牛価格が徐々に上がってきており、明るい兆しが見えてきております。

このまま酪農情勢が良くなって行くことを願うばかりです。

最後に、組合員あつての県酪協です。

皆様のお力添えになれるよう、日々精進して参りますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。



人事異動



I. 退職（令和6年5月31日付）

氏名	適用	旧所属
浦邊 均	依願退職	福岡支所
川口 聡子	パート契約終了	畜産支援牧場

II. 異動等（令和6年7月1日付）

氏名	新所属・職階級		旧所属・職階級	
遠藤 拓人	考查役	乳牛診療人工授精所所長	考查役	久留米地区乳牛診療人工授精所所長
梶原 隆幹	考查役	乳牛診療人工授精所所長代理 兼ETセンター長	考查役	ETセンター長 兼飯塚地区乳牛診療人工授精所
高野 敏宏	調査役	乳牛診療人工授精所次長(福岡地区担当) 兼酪農部専任指導員(福岡支所担当)	調査役	福岡乳牛診療人工授精所所長代理 兼酪農部専任指導員(福岡支所担当)
中江 徳洋	調査役(昇)	乳牛診療人工授精所次長(久留米地区担当)	技師	久留米地区乳牛診療人工授精所
富來 基寿	嘱託	相談役 兼乳牛診療人工授精所次長(飯塚地区担当)	嘱託	相談役 兼飯塚地区乳牛診療人工授精所所長
河村 信一	技師	乳牛診療人工授精所	技師	福岡乳牛診療人工授精所
岩丸 直矢	技師	//	技師	//
山川 葉奈	技師	//	技師	//
小金丸 陽香	技師	//	技師	//
廣瀬 紗千	技師	//	技師	//
古賀 清照	嘱託	//	嘱託	//
貞刈 陽	技師	乳牛診療人工授精所 兼酪農部専任指導員(久留米支所担当)	技師	久留米地区乳牛診療人工授精所 兼酪農部専任指導員(久留米支所担当)
梶嶋 茜	技師	乳牛診療人工授精所	技師	久留米地区乳牛診療人工授精所
了正 美香	技師	//	技師	//
宇土 詩織	技師	//	技師	//
宗 まいみ	技師	//	技師	//
蔣野 あかり	技師	//	技師	//
樽見 和幸	嘱託	乳牛診療人工授精所兼ETセンター	嘱託	久留米地区乳牛診療人工授精所 兼ETセンター
渡邊 哲史	技師	管理部付けを解き乳牛診療人工授精所	技師	管理部付久留米地区乳牛診療人工授精所
横山 生	技師	//	技師	//

暑中お見舞い申し上げます

監 事	代 表 監 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	理 事	副 組 合 長 理 事	代 表 理 事 組 合 長
羽 野 浩	松 隈 進	波 多 江 孝 一	中 垣 広 之	中 野 実 夫	吉 田 政 弘	石 橋 義 則	小 島 興 人	江 藤 秀 樹	村 上 篤	中 島 清

新入社員紹介



渡邊 哲史

始めまして、今年4月より入組致しました、獣医師の渡邊哲史です。出身は東京都町田市です。福岡県は親戚や友人が住んでおり小さい頃から何度か訪れたことがあつて、馴染みがあり福岡県は住みやすくて気に入っています。牛にあまり縁がなく牛の診療に不慣れな部分が多い未熟者ですが、福岡県の酪農・畜産の向上のために一杯頑張りたいと思いますのでよろしくお願いします。



横山 生

今年4月に新卒で入組致しました、獣医師の横山と申します。出身は富山です。酪農は未経験ですが、皆様に信頼していただける獣医師になれるよう努力して参ります。よろしくお願いします。

俳句・川柳コーナー

「暑い夏

元気はつらつ

ミルク飲む」

P.N. 甦る獅子

